

115 じょうこういん せきぞうほうきょういんとう
城光院の石造宝篋印塔



指 定 市有形文化財 昭和61年 9 月10日
所在地 望 月
所有者 城 光 院

凝灰岩製のものが4基造立されているが、内2基が小型ではあるが完全な姿で残されている。1基は「永正11年（1514）甲戌6月19日逆修同窓宗明大姉」、残る1基は「永正13年（1516）丙子2月8日為仙深祐禪定尼□」と台石に銘記されている。（判読不明文字は、金井重道著「望月氏の歴史と誇り」より補充）相輪がわずか破損しているが、その他は完全である。基礎・露盤等に若干の省略はあるが、笠石・隅飾等の作りも良く、室町時代初期の様式を伝えている。